



NextScreen

# Windows Media メタファイルの使用

— DVD やストリーミングを再生する—

# 目次

はじめに.....	3
<b>第 1 章 Windows の設定と確認 (DVD の場合)</b> .....	<b>5</b>
Windows の設定と確認について.....	6
DVD の自動再生を止める.....	6
DVD のドライブレターの確認.....	8
<b>第 2 章 Windows Media メタファイルの作成</b> .....	<b>9</b>
Windows Media メタファイルの作成について.....	10
メタファイルを作成する.....	10
<b>第 3 章 メタファイル用ステージファイルの作成</b> .....	<b>13</b>
メタファイル用ステージファイルの作成について.....	14
ダミーの動画ファイルを用意する.....	14
ステージファイルの作成.....	15
<b>第 4 章 メタファイルの配置とステージの編集</b> .....	<b>17</b>
メタファイルを配置する.....	18
ステージファイルを編集する.....	18
<b>第 5 章 簡単な設定方法</b> .....	<b>21</b>
簡単な設定方法について.....	22
簡単な設定手順.....	22

# はじめに

NextScreen をご利用いただきましてありがとうございます。

NextScreen は様々な動画を扱うことができますが、Windows Media メタファイルを直接扱うことができません。このマニュアルは NextScreen において Windows Media メタファイルを扱う方法について説明いたします。

※ NextScreen は Windows Media メタファイルについては十分な動作検証ができていません。このマニュアルを使用して設定した場合の動作について一切の保証はありません。あらかじめご了承ください。

Windows Media メタファイルとは、URL とその他の情報が記載された単純なテキストファイルです。メタファイルを Windows Media Player が読み込むことによって、ストリーム配信された動画を再生したり、ネットワーク上の動画を再生したり、DVD を再生したりすることができます。

※このマニュアルは DVD の扱いを主として記載しています。

Windows Media メタファイルの詳細については次の URL を参照してください。

[Windows Media(TM) メタファイルの活用]

<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/dd148561.aspx>

## 【DVD を扱うときの注意】

再生可能な DVD は、使用する PC において Windows Media Player で再生可能なものに限られます。DVD には様々な保護機能が施されたものがあり、DVD の種類によっては再生できません。

また、使用する PC と DVD ドライブ機器との接続やビデオカードとディスプレイとの接続によっては、DVD コンテンツの保護機能が働いてしまい、再生できないものもあります。

このマニュアルと共に「dvd\_sample.wvx」と「DVD\_Stage.xml」という2つのファイルが配布されていることがあります。その場合は、「第5章 簡単な設定方法」により設定を行うことができます。第5章による設定を行う場合であっても、「第1章 Windows の設定と確認 (DVD の場合)」は必須となりますので、必ず目を通してください。



## 第 1 章 Windows の設定と確認 (DVD の場合)

# 第1章 Windows の設定と確認 (DVD の場合)

## Windows の設定と確認について

Windows Meta ファイルを使用して DVD 再生を行う場合は、DVD が挿入された際に自動再生しないように設定しておくことをお勧めします。また、設定のためには DVD がどのドライブレター (D: や E: など) として認識されるかを確認しておく必要があります。

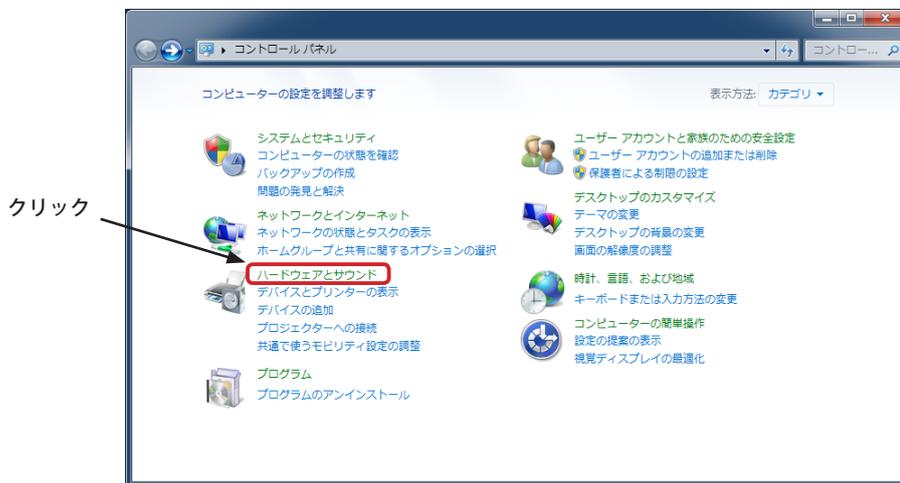
※ストリーミング再生の場合はこの設定を行う必要はありません。

### 【重要】

DVD コンテンツによっては再生できないことがあります。使用する予定の DVD コンテンツが使用する PC の Windows Media Player で再生できることを確認してください。

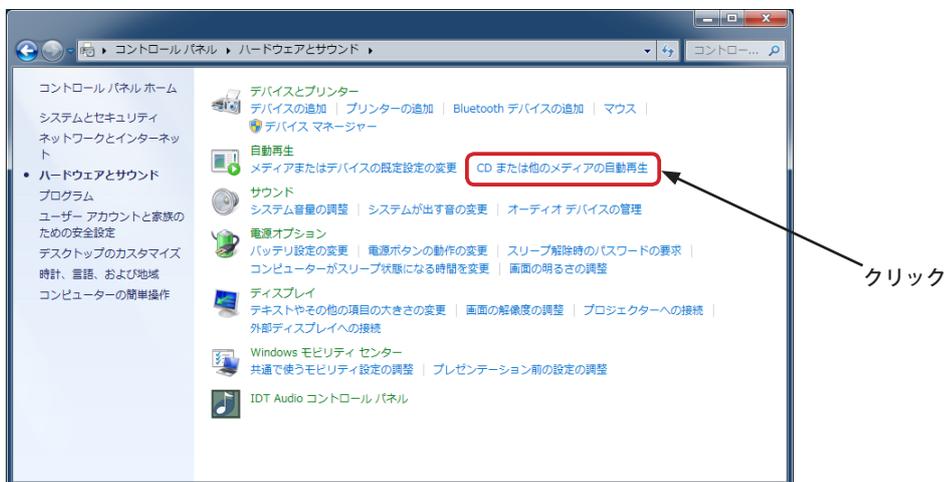
## DVD の自動再生を止める

- (1) コントロールパネルを表示させてください。(Windows 7 の場合はスタートボタンを左クリックして、「コントロールパネル」を選択、Windows 10 の場合はスタートボタンを右クリックして「コントロールパネル」を選択。) コントロールパネルが表示されたら、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。



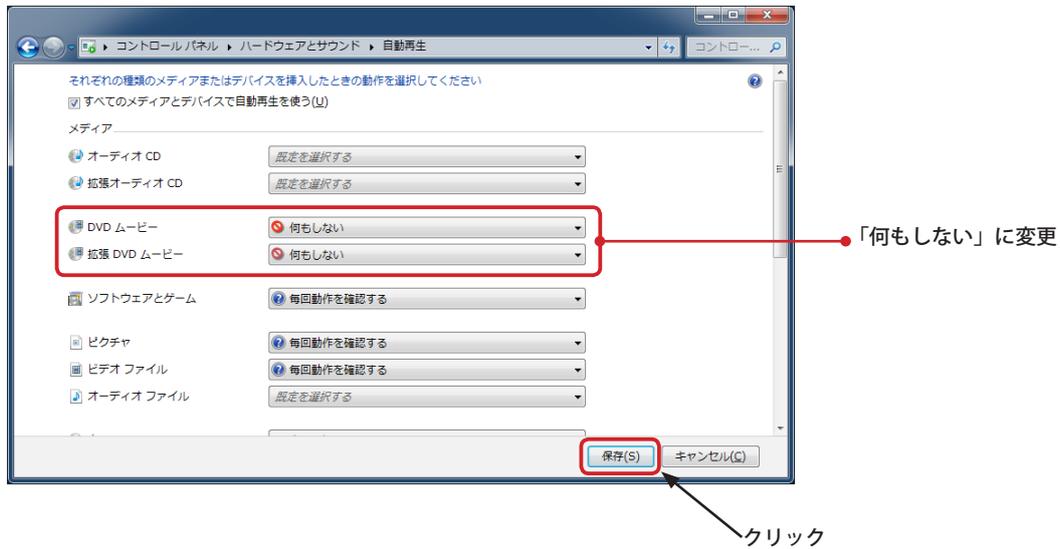
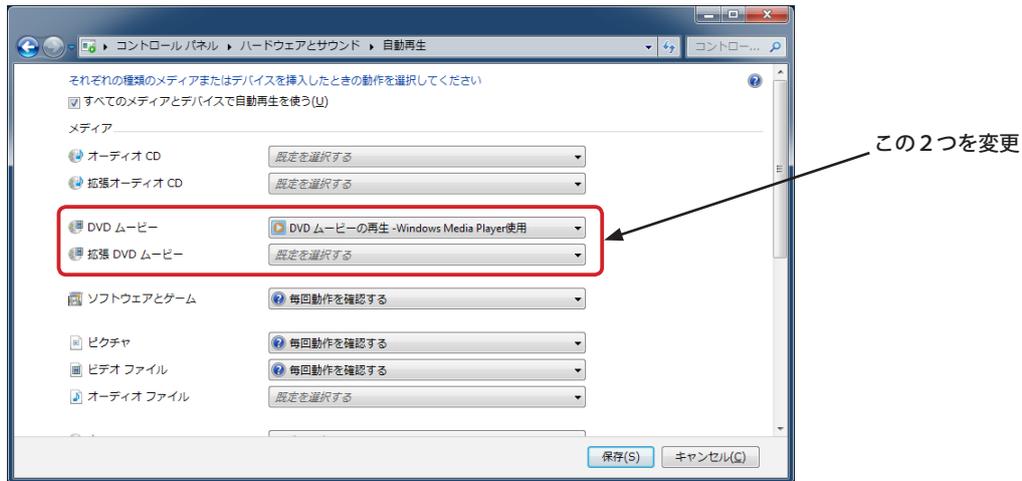
- (2) 「ハードウェアとサウンド」画面が表示されるので、「CD または他メディアの自動再生」をクリックします。

「ハードウェアとサウンド」画面



(4)「自動再生」画面が表示されます。「DVD ムービー」と「拡張 DVD ムービー」の設定を「何もしない」に変更してください。変更後は、「保存」 ボタンをクリックします。

「自動再生」画面

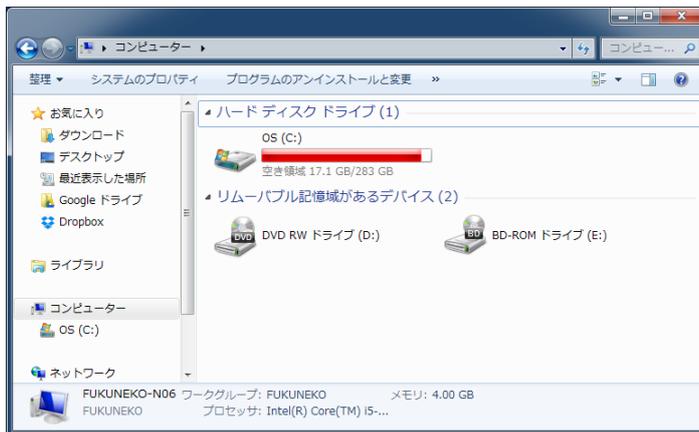


## DVD のドライブの確認

Windows Meta ファイルを使用して DVD 再生を行う場合は、DVD がどのドライブ (D: や E: など) として認識されるかを確認しておく必要があります。この情報は Windows Meta ファイルを作成 (修正) する際に必要になります。

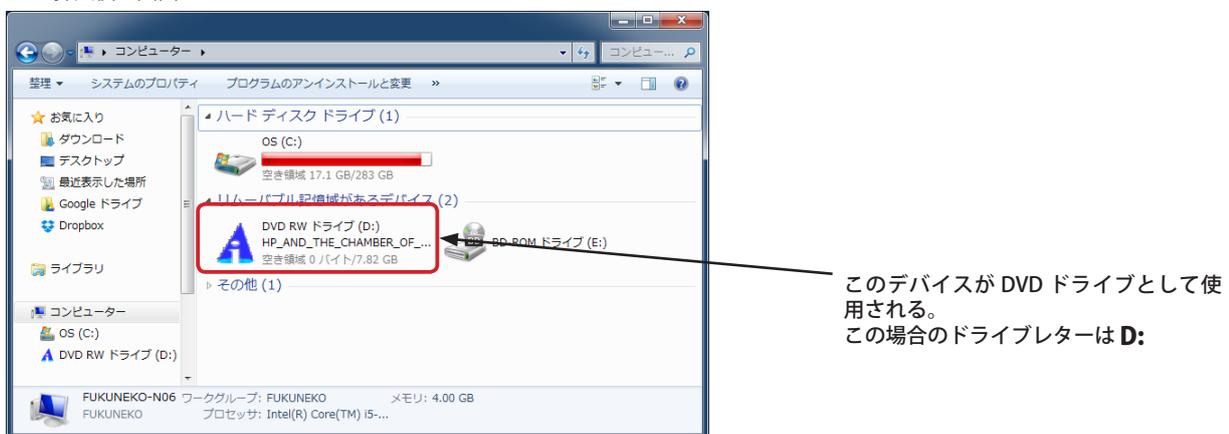
- (1) エクスプローラを使用してコンピュータを開きます。通常は「DVD-ROM ドライブ (D:)」のような名称で表示されます。この括弧内の **D:** というのがドライブになります。DVD-ROM などのドライブが複数ある場合は、どれが DVD の再生に使用されるかわかりませんので、実際に DVD を挿入します。

エクスプローラで「コンピュータ」を開いた画面



- (2) DVD が挿入されると、いずれかのリムーバブルデバイスのアイコンが変化します。(DVD によりアイコンは異なります。) 変化したアイコンのデバイスが実際に使用される DVD ドライブになります。(この画面例では D: ドライブ)

DVD 挿入後の画面



### 【重要】

NextScreen のエディタとビューワを別の PC で運用している場合は、エディタとビューワの両方の PC でドライブレターを確認し、分かるようにしておいてください。トラブルを避けるためには、エディタとビューワの DVD のドライブレターが同じになるように Windows の設定を変更してください。ドライブレターの変更については、Windows のマニュアル等を参考にしてください。

## 第2章 Windows Media メタファイルの作成

## 第2章 Windows Media メタファイルの作成

### Windows Media メタファイルの作成について

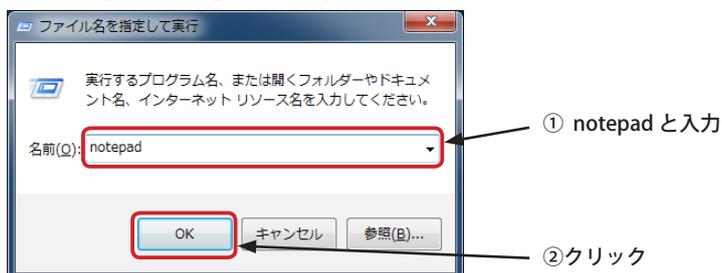
Windows Media メタファイル（以降メタファイルと記述）はテキストファイルです。メモ帳のようなテキストエディタで作成することができます。（Windows のメモ帳アプリケーションでも可能です。）

ファイルを作成後に拡張子を変更しますので、Windows の設定を「拡張子が見えるように」しておいてください。拡張子の設定については、Windows のマニュアルを参照してください。（NextScreen のマニュアルにも記載されています。）

### メタファイルを作成する

- (1) テキストエディタを起動します。別途テキストエディタが無い場合はメモ帳を起動します。メモ帳は、「Windows」キー + 「R」 キーを押して表示される「ファイル名を指定して実行」に「notepad」と入力し、「OK」 ボタンをクリックすると起動することができます。

「Windows」キー + 「R」 キー で表示される画面



- (2) テキストエディタ（メモ帳）に次のように入力します。（これは DVD を D: ドライブで再生するものです。）  
※ dvd\_sample.txt ファイルがある場合はそのファイルを開いてください。

```
<Asx Version="3.0" >
  <Repeat>
    <Entry>
      <Ref href="wmpdvd://d/1"/>
    </Entry>
  </Repeat>
</Asx>
```

3 行目の <Ref href="....." /> のところに再生対象のアドレスなどを記述します。  
DVD の場合は、wmpdvd:// から始まります。

#### 【DVD の URL 記述説明】

wmpdvd:// ドライブレター / タイトル番号

ドライブレターは、D: の場合は : を除き D と記述します。（小文字でも可）  
タイトル番号を省略すると、DVD の先頭から再生します。先頭から再生すると、メニューが表示され再生が（画面上は）一時停止します。メニューはマウスなどの操作が必要になりますので、通常はタイトル番号を指定し、メニューをスキップするようにします。通常は 1 を指定すれば良いでしょう。

DVD の URL 記述については次のホームページに詳細が記載されています。（英語のみ）

[WMPDVD Protocol]

[https://msdn.microsoft.com/en-us/library/dd564696\(v=VS.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/en-us/library/dd564696(v=VS.85).aspx)

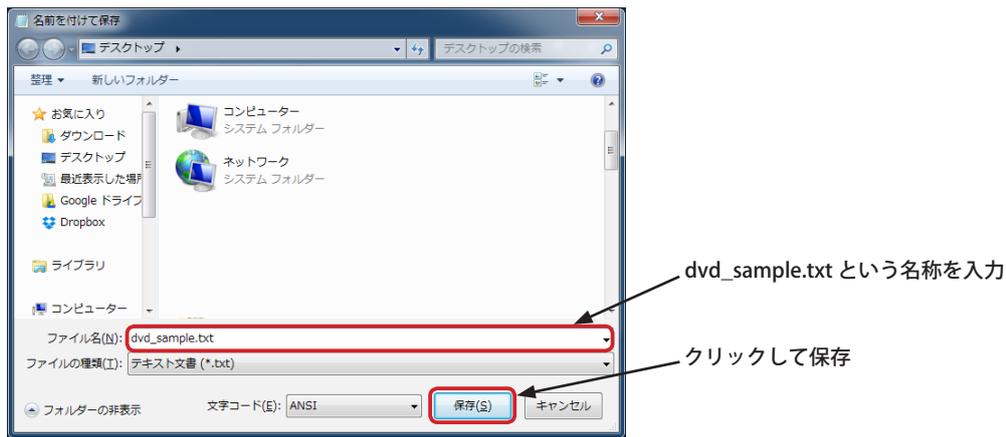
<Repeat> と </Repeat> は DVD の再生を繰り返します。1 回の再生で終了させたい場合は <Repeat></Repeat> を削除してください。

ストリーミングなどの記載方法については次のホームページに詳細が記載されています。（日本語）

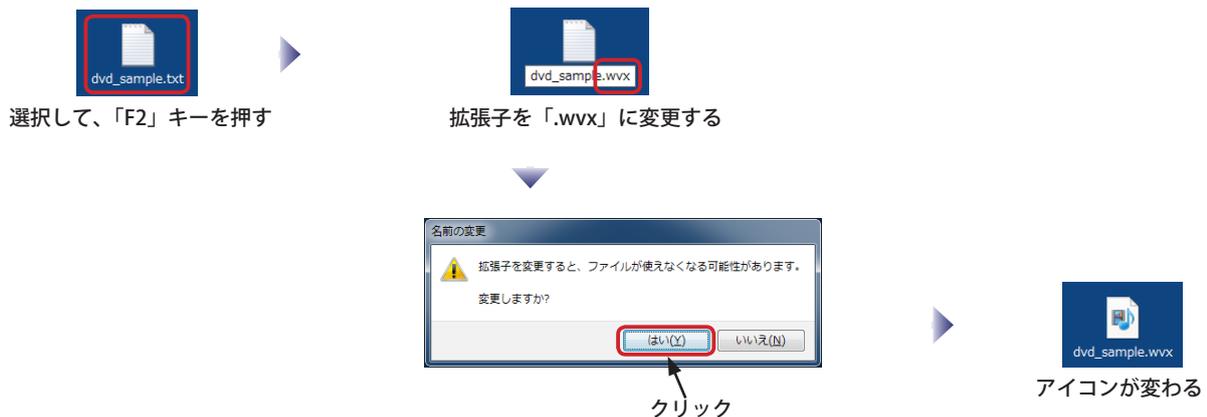
[Windows Media(TM) メタファイルの活用]

[https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/dd148561.aspx#asx\\_intro](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/dd148561.aspx#asx_intro)

(3) メタファイルの記述が終わったら、保存します。ここでは、「dvd\_sample.txt」というファイル名で、デスクトップに保存することにします。



(4) 保存したファイルの拡張子を「.txt」から「.wvx」に変更します。ファイルをクリックなどで選択し、「F2」キーを押すと、ファイル名を変更できるようになります。拡張子のところを「.wvx」に変更し、「Enter」キーを押します。拡張子の変更に対する注意のダイアログボックスが表示されますので、「はい」をクリックします。アイコンが Windows Media 用のものに変更されれば OK です。



(5) DVD をドライブへ挿入し、「dvd\_sample.wvx」ファイルをダブルクリックします。Windows Media Player が起動し、DVD が再生されればメタファイルの作成は完了です。



DVD が再生されないときは、メタファイルの記述を確認してください。ドライブレーサーが合っていない場合は再生できません。また、対象の DVD が Windows Media Player から再生できることを確認してください。



## 第3章 メタファイル用ステージファイルの作成

## 第3章 メタファイル用ステージファイルの作成

### メタファイル用ステージファイルの作成について

NextScreen はメタファイルをコンテンツファイルとして認識することができません。マルチメディアスクリーンを含む通常のステージを作成し、そのステージファイルを修正することによってメタファイルを扱えるようにします。ステージファイルはXML形式のテキストファイルですので、メモ帳などのテキストエディタで編集することができます。メタファイルを使用するためには、先ずマルチメディアスクリーンに通常の動画コンテンツを配置したステージを作成する必要があります。動画コンテンツを持っていればそれを仮に配置することによって準備を整えることができます。動画コンテンツが無い場合には、ダミーの動画ファイルを用意することから始めます。

### ダミーの動画ファイルを用意する

- (1) ここでは、デスクトップでダミーの動画ファイルを作成する手順を示します。ファイルの拡張子を変更する必要がありますので、Windows の設定で拡張子が見えるようにしておいてください。デスクトップ上で右クリックします。表示されたコンテキストメニューから「新規作成」→「テキストドキュメント」を選びます。



- (2) デスクトップに、「新しいテキストドキュメント.txt」というファイルが現れ、名前の編集状態になります。(名前の編集状態になっていないときは、「F2」キーを押します)。「dummy.wmv」という名前に変更してください。(別の名前でも大丈夫ですが、拡張子は「.wmv」にしてください。)警告のダイアログが表示されるので、「はい」をクリックすると、アイコンが動画を示すものに変更されます。この「dummy.wmv」を NextScreen のライブラリに登録してください。(ライブラリへの登録は NextScreen のマニュアルを参照してください。)



新しいテキストドキュメントが作成され、表示される。



名前を「dummy.wmv」に変更する



アイコンが変わる

## ステージファイルの作成

ここでは、「dummy.wmv」という動画のダミーファイルが NextScreen のライブラリに登録されているという前提で説明いたします。ライブラリへの登録については、NextScreen の取扱説明書（ユーザズマニュアル）を参照してください。

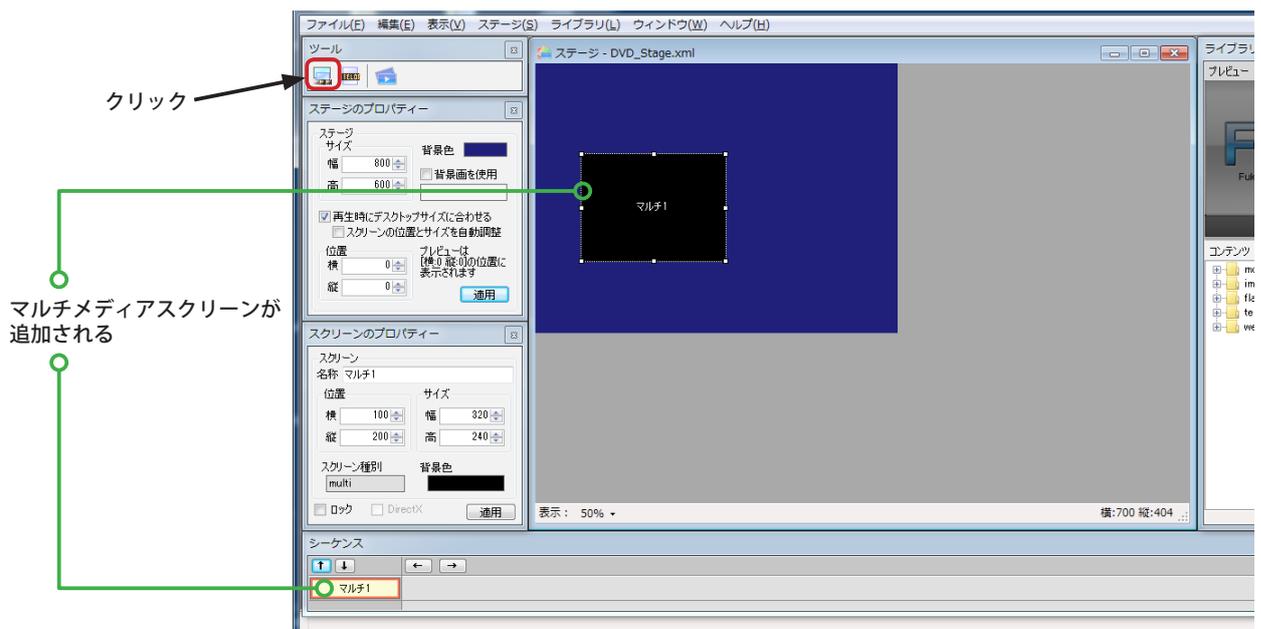
- (1) NextScreen エディタを起動し、「スタートメニュー」から「ステージの編集」をクリックしてください。「ステージの選択」画面が表示されるので、「新規作成」ボタンをクリックします。



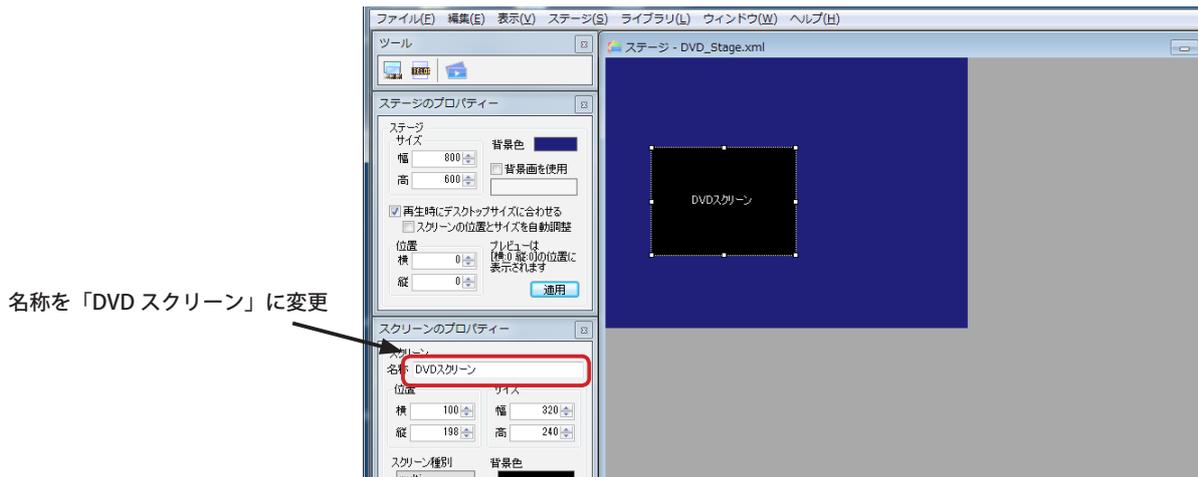
- (2) 「新規ステージ」の画面が表示されるので、ステージ名を「DVD\_Stage」のように後でわかりやすい名前に変更し、「OK」ボタンをクリックします。



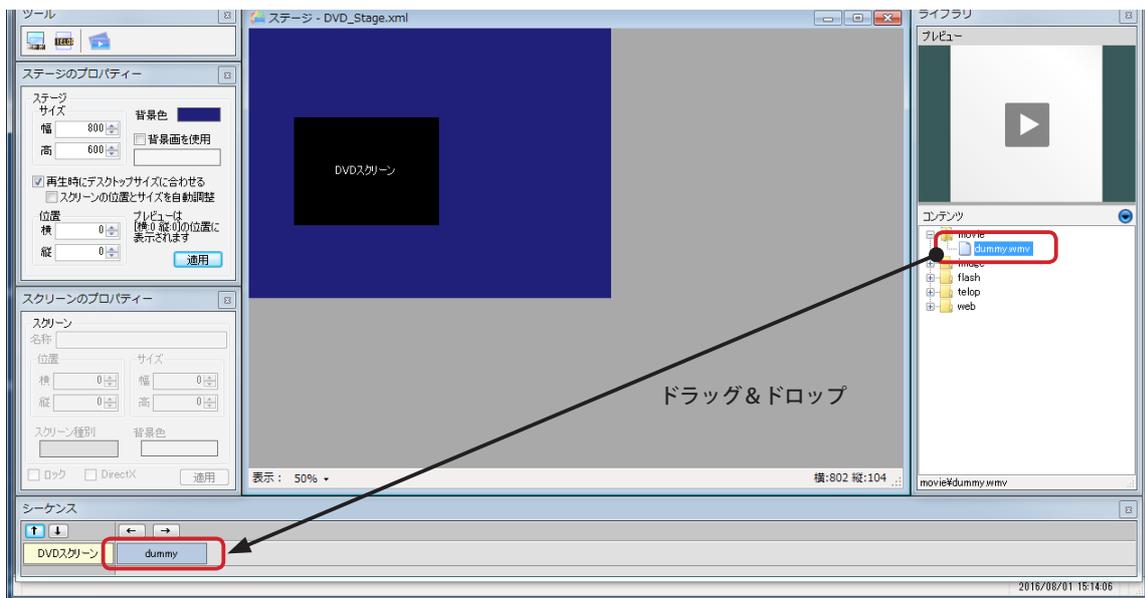
- (3) DVD\_Stage が表示されるので、ツールの「マルチメディアスクリーンの追加」ボタン (🖥️) をクリックして、新しいマルチメディアスクリーンを追加します。



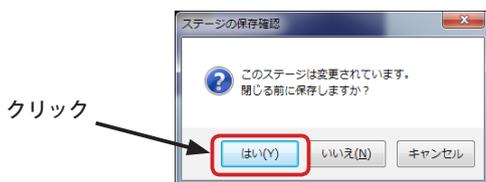
(4) 必須ではありませんが、後でわかりやすいように、スクリーンの名称を「DVD スクリーン」に変更します。



(5) 第3章で作成したダミーの動画コンテンツ「dummy.wmv」を、ライブラリからシーケンスヘドドラッグ&ドロップして割り当てます。



(7) ステージを保存して、エディタを終了します。



## 第4章 メタファイルの配置とステージの編集

# 第4章 メタファイルの配置とステージの編集

## メタファイルを配置する

第2章で作成したメタファイルを適切なフォルダに配置します。「DVD\_Sample.wvx」というメタファイルを作成済ということをご前提として説明いたします。

また、NextScreen のデータフォルダはデフォルトの場所であることを前提といたします。

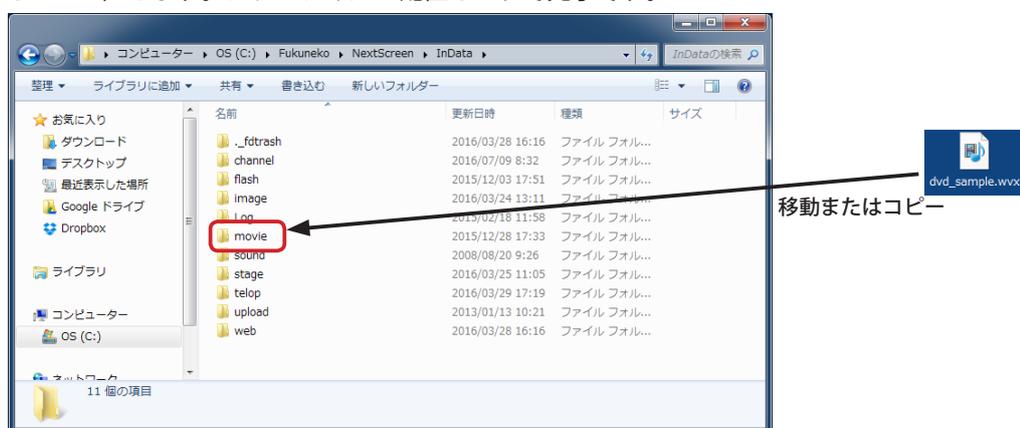
【データフォルダ】

C:¥Fukuneko¥NextScreen¥InData

※ Dr.Signage の場合は次のフォルダになります。

C:¥Fukuneko¥DrSignage¥InData

(1) エクスプローラを使用して、「dvd\_sample.wvx」ファイルをデータフォルダの中の「movie」フォルダへ移動（またはコピー）します。メタファイルの配置はこれで完了です。

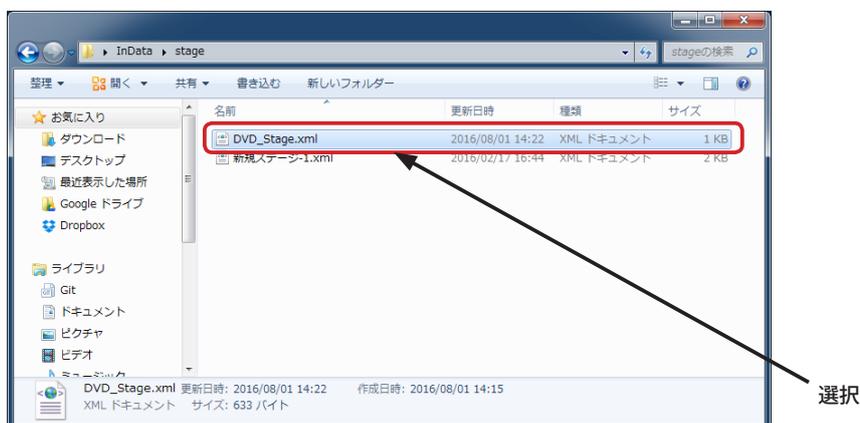


## ステージファイルを編集する

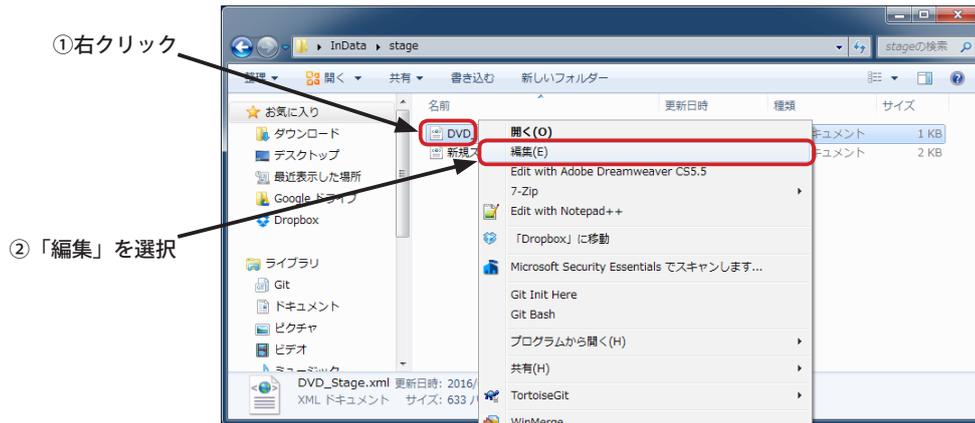
ステージファイルの編集は、メモ帳のようなテキストエディタで行います。Microsoft Wordのようなワードプロセッサアプリケーションでは問題が生じることがありますので、普段使用しているテキストエディタが無い場合は「メモ帳」を使用することを推奨いたします。

ここでもデータフォルダはデフォルトの位置であることを前提といたします。

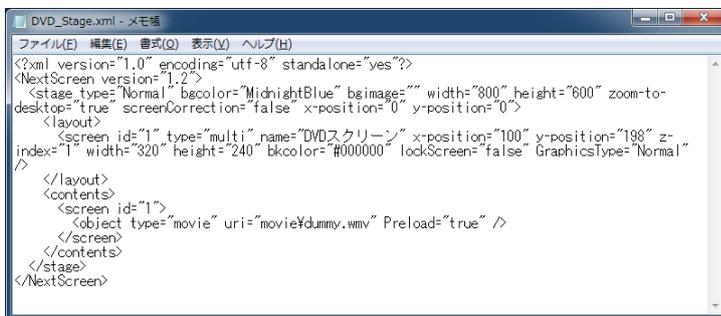
(1) エクスプローラを使用して、データフォルダの中の「stage」フォルダを開きます。第2章で作成したステージを選択します。（ここでは、「DVD\_Stage.xml」）



(2) 「DVD\_Stage.xml」 ファイルを右クリックして表示されるコンテキストメニューから「編集」を選びます。



(3) 通常はメモ帳が起動し、「DVD\_Stage.xml」のテキスト情報を表示します。



(4) <contents> 要素の中の <screen id="1"> の要素を探します。その中の <object type="movie" uri="movie¥dummy.wmv" /> 要素を探します。uri="movie¥dummy.wmv" のファイル名「dummy.wmv」を「dvd\_sample.wvx」に書き換えます。(uri= を検索しても OK)

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" standalone="yes"?>
<NextScreen version="1.2">
  <stage type="Normal" bgcolor="MidnightBlue" bgimage="" width="800"
height="600" zoom-to-desktop="true" screenCorrection="false" x-position="0"
y-position="0">
    <layout>
      <screen id="1" type="multi" name="DVD スクリーン" x-position="100"
y-position="198" z-index="1" width="320" height="240" bgcolor="#000000"
lockScreen="false" GraphicsType="Normal" />
    </layout>
    <contents>
      <screen id="1">
        <object type="movie" uri="movie¥dummy.wmv" Preload="true" />
      </screen>
    </contents>
  </stage>
</NextScreen>
```

dvd\_sample.wvx に書き換える

(5) 書き換え後の DVD\_Stage.xml ファイルは次のようになります。書き換え後は上書き保存し、メモ帳を終了します。

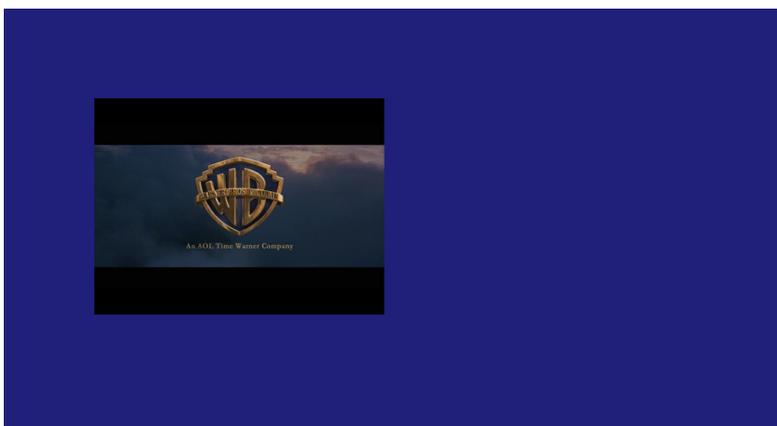
```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" standalone="yes"?>
<NextScreen version="1.2">
  <stage type="Normal" bgcolor="MidnightBlue" bgimage="" width="800"
height="600" zoom-to-desktop="true" screenCorrection="false" x-position="0"
y-position="0">
  <layout>
    <screen id="1" type="multi" name="DVD スクリーン" x-position="100"
y-position="198" z-index="1" width="320" height="240" bkcolor="#000000"
lockScreen="false" GraphicsType="Normal" />
  </layout>
  <contents>
    <screen id="1">
      <object type="movie" uri="movie¥dvd_sample.wvx" Preload="true" />
    </screen>
  </contents>
</stage>
</NextScreen>
```

書き換え後

(6) エディタを起動し、DVD\_Stage.xml ステージを開きます。DVD を挿入し、ステージをプレビューして表示されれば OK です。

DVD を表示するためのスクリーンの位置や大きさは自由に変えることができます。また、他のスクリーンを追加し、コンテンツを割り当てることも可能です。(DVD を表示するスクリーンには他のコンテンツを割り当てないでください。)

※このステージを DVD 用の元ステージとして、編集後に別名で保存すれば、以降ステージファイルをメモ帳で編集する必要はありません。



エディタとビューワの設定で、「Windows Media Player を使用する」を有効になっていることを確認してください。有効になっていないと、DVD を表示することはできません。(ストリーミングも同様です。)

## 第5章 簡単な設定方法

## 第5章 簡単な設定方法

### 簡単な設定方法について

このマニュアルで作成方法を示している2つのファイルは、通常はこのマニュアルと共に配布されています。2つのファイルがある場合は簡単に設定することができます。

【Windows Media メタファイル (DVD 再生 : D ドライブ用)】

dvd\_sample.wvx

【DVD 再生用ステージファイル】

DVD\_Stage.xml

※ DVD 再生の場合は Windows の設定の確認が必要になりますので、第1章の手順は必ず確認しておいてください。特に、DVD ドライブのドライブレター情報は必須となります。

ここでの説明は、データフォルダがデフォルトになっていることを前提としていますので、変更している場合はデータフォルダの位置を読み替えてください。デフォルトのデータフォルダの位置は次のようになっています。

【データフォルダ】

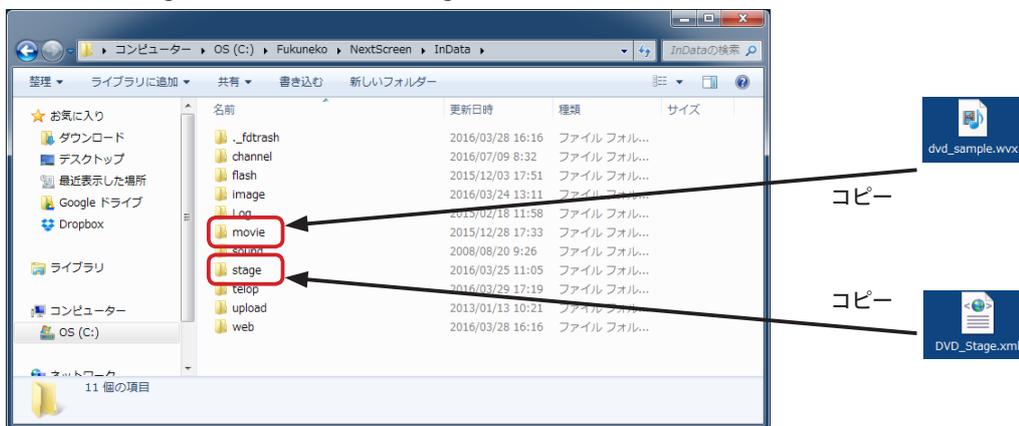
C:¥Fukuneko¥NextScreen¥InData

※ Dr.Signage の場合は次のフォルダになります。

C:¥Fukuneko¥DrSignage¥InData

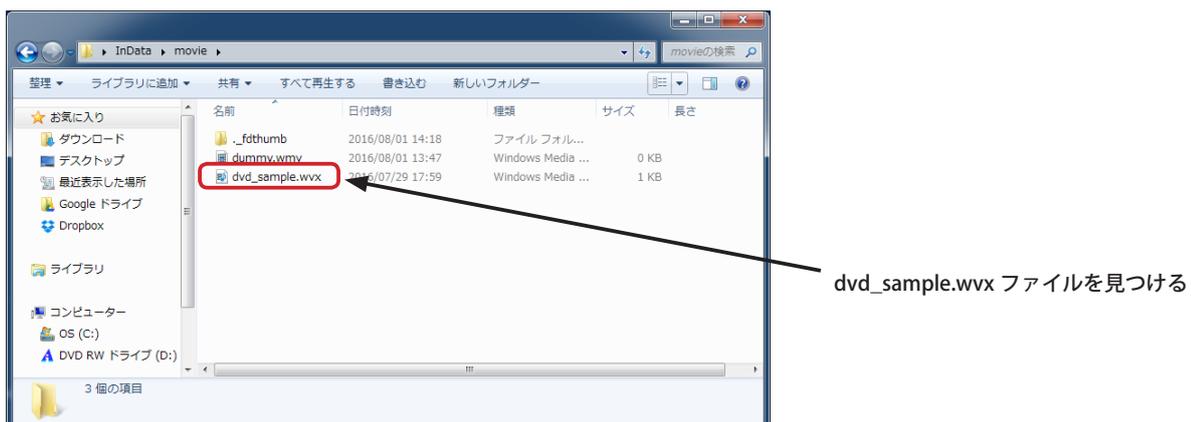
### 簡単な設定手順

(1) エクスプローラを使用して、データフォルダを開きます。「dvd\_sample.wvx」ファイルを「movie」フォルダへコピーし、「DVD\_Stage.xml」ファイルを「stage」フォルダへコピーします。



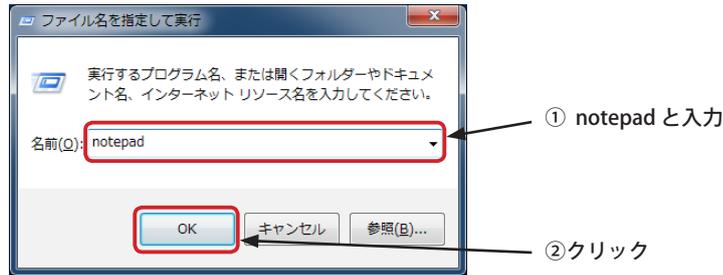
※ DVD ドライブのドライブレターがDドライブの場合は次の(2)～(4)の手順は必要ありません。(5)へ進んでください。

(2) 「movie」フォルダを開き、コピーした「dvd\_sample.wvx」ファイルを探し、見つけます。

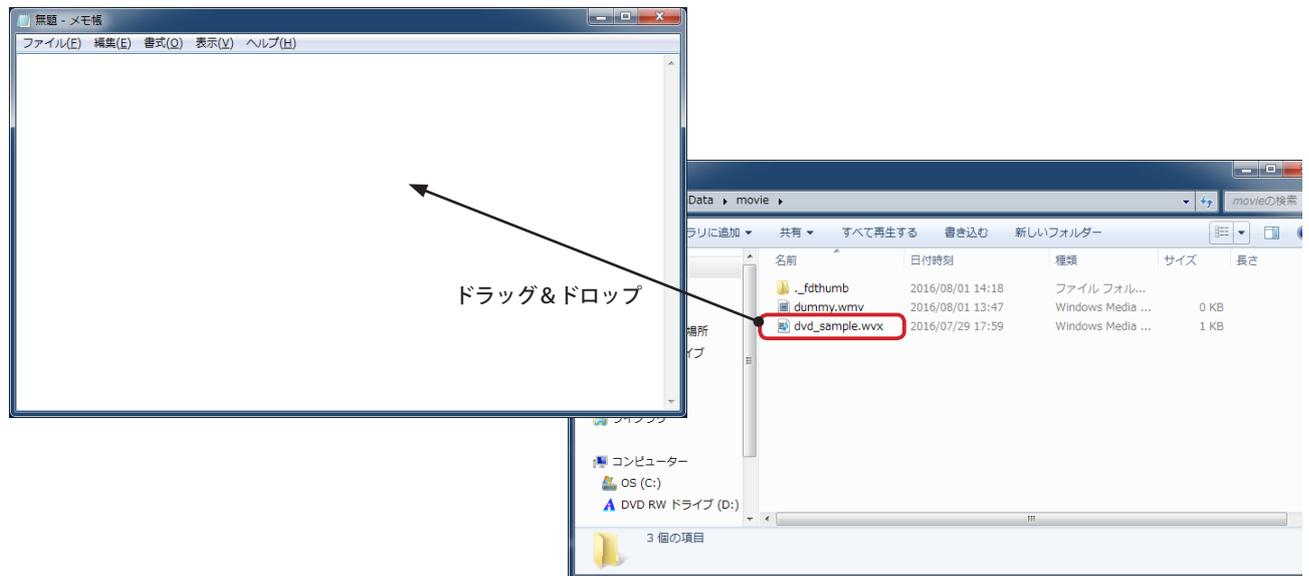


(3) メモ帳を起動します。メモ帳は、「Windows」キー + 「R」キーを押して表示される「ファイル名を指定して実行」に「notepad」と入力し、「OK」ボタンをクリックすると起動することができます。

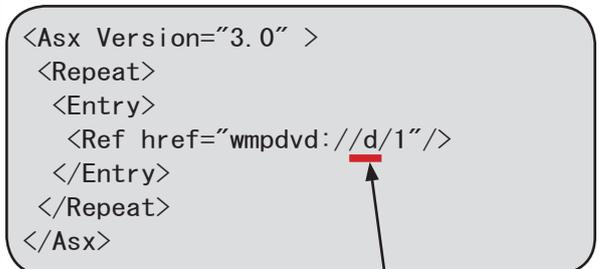
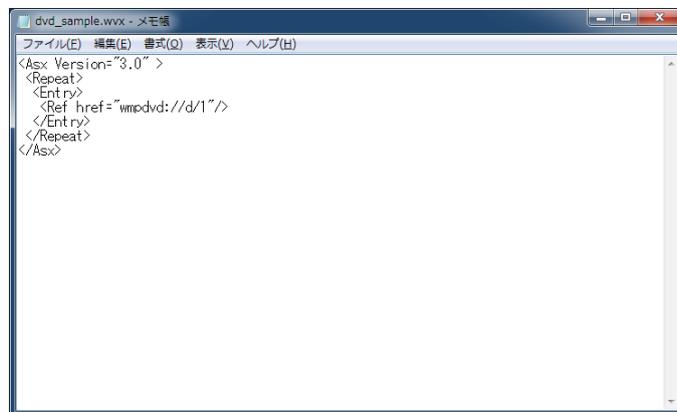
「Windows」キー + 「R」キーで表示される画面



(3) 空のメモ帳のウィンドウに、エクスプローラから「dvd\_sample.wvx」ファイルをドラッグ&ドロップします。



(4) メモ帳に「dvd\_sample.wvx」ファイルの内容が表示されます。4行目の <Ref href="wmpdvd://d/1"/> の //d/ の d を DVD のドライブレターに書き換えます。E: ドライブの場合は、<Ref href="wmpdvd://e/1"/> のようになります。書き換えたらメモ帳のメニューから「ファイル」 - 「上書き保存」を選んで保存します。メモ帳も終了します。



ここを書き換える

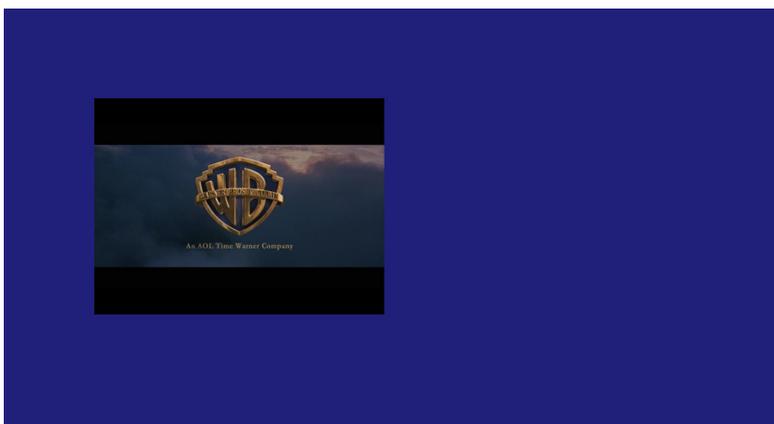
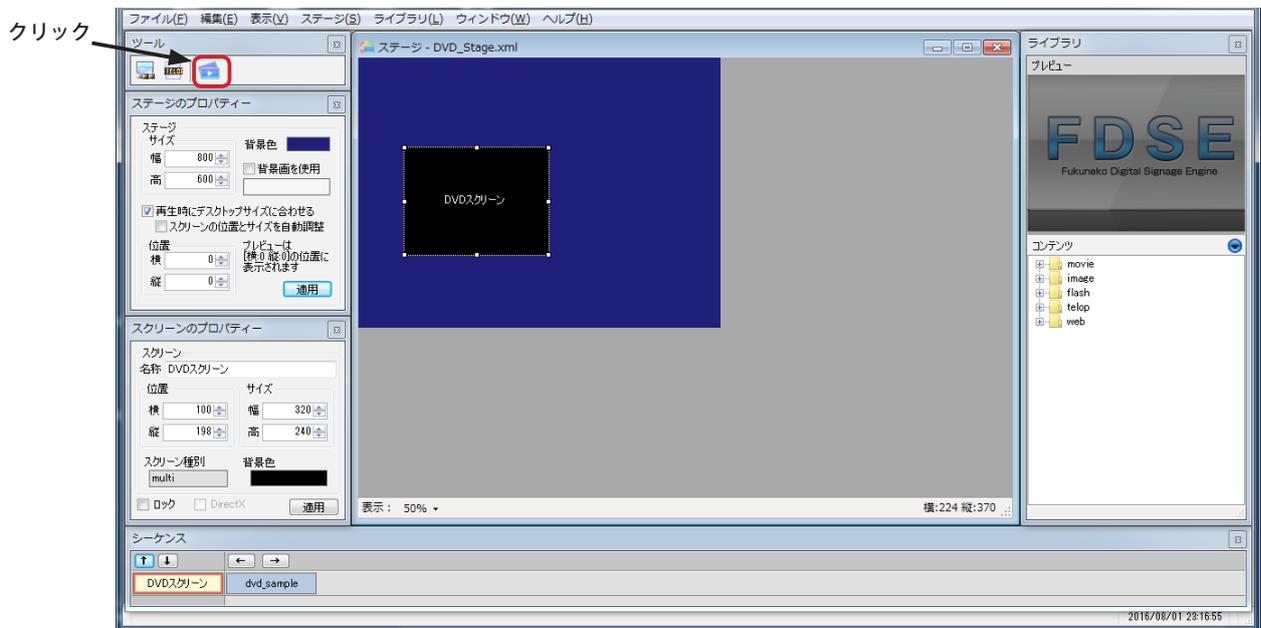
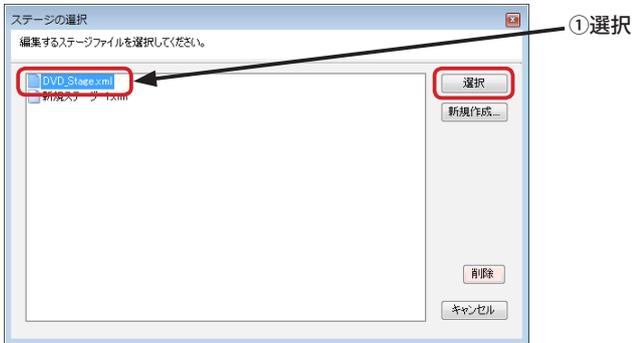
E: ドライブの場合は e  
F: ドライブの場合は f  
G: ドライブの場合は g

※エディタとビューワで DVD のドライブレターを一致させてください。  
ドライブレターは、コントロールパネルから「システムとセキュリティ」 - 「ハードディスクパーティションの作成とフォーマット」で表示される「ディスクの管理」で行うことができます。詳しくは Windows のマニュアル等を参照してください。

(6) エディタを起動し、DVD\_Stage.xml ステージを開きます。DVD を挿入し、ステージをプレビューして表示されれば OK です。

DVD を表示するためのスクリーンの位置や大きさは自由に変えることができます。また、他のスクリーンを追加し、コンテンツを割り当てることも可能です。(DVD を表示するスクリーンには他のコンテンツを割り当てないでください。)

※このステージを DVD 用の元ステージとして、編集後に別名で保存すれば複数のステージで DVD 表示を行うことができます。





[www.fukuneko.com](http://www.fukuneko.com)



## Windows Media メタファイルの使用

発行元： 福猫株式会社